

なかのなっちょ隊 通信

H30年度

Vo.5

～支え合いの地域へ～

なかのなっちょ隊（中野市第1層協議体）とは

「なっちょだい？」と声をかけあいながら、みんながつながって支え合えるよう、地域が求めているもの、地域に求められているもの、をみんなで考え、見つけ、情報を発信していく場。

参加団体：

社会福祉協議会、北信総合病院、ジェイエイ・アップル、高水福祉会、
シルバー人材センター、介護支援専門員連絡会、民生児童委員協議会、
長寿社会開発センター北信支部、中野市

安心して年齢を重ね暮らしていけるよう、地区全体で「支え合い」や「あったらいいな」と思うものを、考えてみませんか？

生活支援コーディネーター活動日誌

【老人クラブ活動】

柳沢区では「柳沢長寿会」として、2ヶ月に1回、公民館やお宮の清掃をし、その後お茶やお酒を飲みながら交流されています。



72歳になると加入となり、その年1年間は役員となることでした。

年齢での自動加入や役員を引き受けることについて、「強制じゃなかったら入らなかったかもね。入ったから楽しさも知れたしね。」「役員も1年間だけだからね。楽しんでやれているよ。みんなで平等に分担してやるから負担も少ないよ。」とおっしゃっていました。

役員への負担が老人クラブ活動が減少している要因のひとつとなっているようですが、柳沢区では「みんなで分担して」といった形をとることで負担の軽減が図れ、老人クラブ活動が楽しみや生きがいのひとつとなっていました。



「大変じゃないよ。これも健康になるさ。」

掃除後に日陰に座りながらお話が盛り上がっていました。



【メモ】生活支援コーディネーターとは…

支え合いの地域づくりに向けて、

- ①地域の中で支え合い活動が生まれるよう、広がるよう、人・場・活動・情報、などをつなぎます。
- ②地域の支え合い活動（『地域のお宝』）を、目に見えるように・活用できるように・役割がわかるように、発信しま

【小学校で体操】

中野小学校昇降口付近で、5～9月の平日早朝、晴れの日も雨の日も毎日体操をされている皆さんがいらっしゃいます。

活動は何十年も続いていて、1年毎に連絡員を交代し、小学校には施設利用のお礼として学校周囲の清掃をしているとのことでした。

主に集まっている方は松川区の方（松寿会）ですが、ロコミで広がり、東吉田区の方も歩いて通われていました。

「集まりたい人が無理なく集まっているの。」「連絡員も負担が少ないように役割はとても簡単にしているの。」と、地域の中に元々ある屋外の空きスペースを活用し、特別な準備をしないことで手軽に集まることが、活動が長く続いている秘訣の様でした。



「楽しいよ。
毎日来ることが張り
合いになってる。」

【こども食堂】

昨年度から市内にはいくつかのこども食堂が立ち上がりましたが、その中の一つに、月1回、東吉田公民館で開催されている「なかのこども食堂」があります。

こちらのこども食堂のスタッフは元教員の方を中心に、地域の方や学生等、

男女共に様々な世代の方が集まって協力し合っています。

食堂の参加者には子供だけでなく、ご高齢の地域の方もいます。

一緒にお手伝いさせていただきましたが、大量の料理を皆さんで分担しながら手早く、笑顔で作られていました。

「この場所を『貧困の子供が来る場所』といった偏った考えで子供を参加させたがらない親もいるよう。沢山の子供や親、地域の方が気軽に楽しく集まってくれる場になればいい。」とスタッフの方の想いをお聞きしました。



食事の配膳下膳
は子供達も手伝
います。



学生が子供達と昔の遊び道具で遊んだり、鬼ごっこをしたりと、食事の前後にはにぎやかな声が響いていました。

地域の様々な集いの場に多世代が気軽に集まれ、地域のつながりを深められるものとなれるよう、正しい情報を広めていきたいと思えます。



ちょっとした困り事を手助けしてくれるようなボランティアさん、地区の方が気軽に集まれるような場、高齢者に優しいお店やサービス、地域の中で活躍されている方等の「地域のお宝」情報を教えてください☆



中野市高齢者支援課
生活支援コーディネーター：小島杏子
電話：22-2111(内線 366)